



舌田スポーツ少年団全国大会出場（大会成績ベスト16）開催地 鹿児島県

3月定例会の概要

平成24年3月定例会は、3月6日に開会し、18日間の会期で23日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の予算案24件、条例案18件、その他7件、計49件、議会から請願2件、その他3件、合計54件が上程されました。

その内、請願第16号は不採択、請願第15号は閉会中の継続審査、その他の案件については、原案のとおり可決、決定等されました。

また、定例会初日に、昨年の9月定例会に設置した議会改革特別委員会からこれまで協議、検討してきた議会改革についての中間報告がありました。

【3月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
6日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
12日(月)	本会議	一般質問（5名）
13日(火)	本会議	一般質問（4名）
14日(水)	本会議	議案に対する質疑
15日(木)	委員会	総務委員会 民生文教委員会 産業建設委員会
23日(金)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は6月に開催の予定です。

市政をたず 一般質問



今定例会では、9人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をただしました。

掲載は質問順、内容は質問者本人から提出された要約原稿です。

なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者

No	質問者	No	質問者
1	岩田功次	6	上田浩志
2	新宮康史	7	宮本明裕
3	萩森良房	8	清水正治
4	遠藤素子	9	石崎久次
5	大山政司		

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市民図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



岩田功次議員

質問事項

- 1 命の水・安全な水道水について
- 2 市役所職員の人事評価・給与について
- 3 防災対策の為の分庁制の見直し

東北の震災被害状況は、我が町と同じ様な港町で起こっており悲しい気持ちでいっぱいだ。復興支援も、がれき処理など協力できればいいのだが、今回の大震災で原子力発電所の安全神話は無いことがわかった。防災対策も基準が変わる。市民の安全安心の為に理事者の誠意ある答弁を求める。

問 命の水、水道ビジョンの取り組みはどうか伺う。五十年使用している水道管でも安全な水の提供になるのか伺う。八幡浜の水源地の状況と水源地の保全状況を伺う。市職員の人事評価については何回も質問をしてきたが今の状況を伺う。国家公務員の給与は削減される傾向だ、当市ではどうか伺う。職務内容が同じでも市職員と臨時職員の給与の格差が大きい職務がある。改善方針を伺う。技術技術士の能力・技術は市役所の事業を計画する中で重要なポイントだ。体制・育成状況と技術の評価について伺う。

防災対策強化の為に保内・八幡浜の分庁制の見直し、組織配置について伺う。

答 省略

問 分庁でも問題が無いとの答弁だが建設課は一階であり防災無線機も一階にある。津波で重要な機器が失われれば分庁も意味が無い。安全の仕組みづくりの再検討が必要である。

人事評価は市職員のやる気起こしに必要

だが、私が同じ質問をなぜ三回も行っているのか、いろいろな問題を見てきたからである。言い方は悪いが、市民をいじめる様な市役所職員がいた。職員の勉強不足が結果として市民をいじめる場合もある。公務員は法律で守られてはいるが公務員でも解雇になる仕組みがあるのではないかと伺う。水道に関する答弁は、安心・安心と安心の言葉が多すぎて不安になる。水源地の水質について、水源地の上流の問題など今一度、水道水の安全について、また簡易水道の水源の水量について重ねて伺う。

答 人事評価は通常、実績評価と能力評価と二つの評価で、その人の能力を半年・一年の実績に基づき判断する。

岩田議員の指摘された特に勤務成績のひどい極度に不良な職員、あるいは職員として適格性にも欠け、職責職務を果たす事のできない職員については地方公務員法で懲戒処分ではなく分限処分がある。その中で休職・降任・免職等の処分ができる。

八幡浜市では人事評価にあわせてこの分限処分が適正に実施される基準をつくるべきではないかと検討をしている。

水道水は五十種類の水質検査項目があり法定に基づき検査している。安全だとしてご理解いただきたい。

問 簡易水道など水源地の森の保全について対策を伺う。**答** 省略



新宮康史議員

二宮忠八翁の顕彰事業について

港湾振興ビジョンの交流施設に、顕彰をアピールできる場所あるいは、生誕地跡に記念館をつくるべき、市長の考えは。

郷土が誇る先哲を紹介する絶好の機会ととらえ、常設は難しいが模型や資料を積極的に紹介する。

当初、基金1億1千万円あったはずだが、現在どのように運用されているのか、また顕彰協議会の継続状況は。

飛行大会を中心に関係行事で毎年250万円程度を使い残り約7千万円で協議会は市長を中心に14名で毎年審議している。

市が買収した忠八翁生誕地は、現在どのような状況になっているのか。

折り合いがつかず、購入できてない、記念館建設は財政的に難しい。

松山空港を、八幡浜市を挙げ運動をおこし「松山忠八空港」に名前を変更しては。実現の可能性について、関係先に打診していく。

なぜ地域コミュニティの組織として公民館も集会所も同じ目的の施設、設備であるのに、所管を分ける必要があるのか。

公民館は社会教育法で市が設置、管理する、集会所は法的根拠はない、目的が別々であると認識している。

事業について、市民が困らない発注方

質問事項

- 1 二宮忠八翁顕彰事業について
- 2 集会所の所管について
- 3 災害に対する防災、減災の対応について

法を取るべき。公民館が2割、集会所が5割負担では公平さに欠けるのではないか。

制度の使い勝手がいいように、弱い者いじめにならないよう改善していく。

東日本大震災から1年経過した、防災、減災の対応は具体的にどのように進捗しているのか。

ソフトからハードまで6点（詳細割愛）の改善、運用を行っている。

津波に対する減災対応で、海辺の近くの学校にヘルメット付きライフジャケットを常備できないか。

有効性に疑問がある、効果、東北での実績を調査し検討する。

今回見直した一時避難場所、大谷口の旧火葬場駐車場は今までの経緯も含め地元の方は選定に異論を唱えている。如何なものか。

地区からの意見を、再度自主防災会と協議していく。

古町のお四国さん登り口は、千枚岩というもろい地質で岩盤が東向きで滑りやすくなる危険がある。今回、地盤や地質的なことも調査、考慮したのか。また、地区に説明の必要な状況があるのか。

地盤、地質は調査してない。必要な場所を調査し変更も含め地元と協議し検討していく。



萩森良房議員

市長の政治姿勢と重要政策

八幡浜市には強い指導者が求められている。大城市長には強力なリーダーシップを発揮され八幡浜市の進むべき具体的な政策を市内外に明確に示すべきである。

市民との対話を重んじ市民が主役の町づくりを推進している。市立病院改築、地域高規格道路整備、防災対策、ちゃんぽんプロジェクトなどである。行財政改革では、部長制度、補助金見直し、小中学校、保育所の統廃合の検討にも着手している。

愛媛県の温州みかん生産量は全国2位、雑柑を含めると日本一の生産量、品質の良さと種類の多さも日本一、その生産地が八幡浜市、今後20年30年と日本一の産地を維持するための八幡浜市の具体的農業政策を伺いたい。

若い農業者を確保し育成へ農業大学校等における研修資金の助成を行っている。JA西宇和には販路拡大の戦略に市単独で助成している。老朽化が進んでいる選果機の更新を実施する。また有害鳥獣対策も実施している。

大洲、八幡浜道路の早期完成は、九州、四国、八幡浜とつながりの窓口となり、経済効果も大きく、人気の高い高速道路は八幡浜発展につながるが完成の見通しについて伺いたい。

高規格道路は高速道路と同じである。高規格道路シンポジウムは350名の参加で盛況であった。名坂道路の完成予定は平成24年度末、八幡浜道路は平成30年代前半を見込んでいる。

市長選公約の医療の確保、直ちに医師3人確保の実績と病床250が適当とした理由、がん診療連携拠点病院の指定について伺いたい。

市民の安心安全の確保へ最優先で取り組んできた。厳しい医療環境で医師不足解消には至っていない。病床250としたのは患者数の変動、病床の効率運用、看護師配置など検討の結果適当であろうとした。がん診療については必要性は認識するが、専門医師、技師の確保、医療機器の整備、院内態勢の確立などの要件があり今後の課題である。

質問事項

- 1 市長の政治姿勢と重要政策について
- 2 地域高規格道路と周辺道路の整備について
- 3 市立八幡浜総合病院の建設について

地域高規格道路

大洲、八幡浜道路の早期完成は、九州、四国、八幡浜とつながりの窓口となり、経済効果も大きく、人気の高い高速道路は八幡浜発展につながるが完成の見通しについて



市立八幡浜総合病院



遠藤素子議員

質問事項

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 教育環境の整備について

一、市長の政治姿勢について
原発の再稼働について

問 私たちは昨年の3・11を忘れることはできない。特に東京電力福島原発事故は、多くの人々を苦しめている。野田首相は、昨年12月「収束宣言」を出し、地元からは怒りの声が出されている。にもかかわらず政府は、再稼働へのめりになって突き進もうとしている。

内閣府は昨年末、伊方周辺の地震の脅威が増していると発表した。M9の地震に備えなければならぬがその時、伊方の老朽原発の配管などが壊れることはないか。制御棒がうまく入らないと、「止める」冷やす「閉じ込める」こと自体が不可能になる。使用済み核燃料の処理もできない。事故の原因解明も、原子炉の中の様子もわからない状況のもとで再稼働などあり得ないと思うが、市長はどのようにお考えか。

答 伊方原発は今すべて止まっているが、電力の需給は安定している。国県・四国電力に対して再稼働を認めないよう求めるべきではないか。

問 原発は国策だから、国がきちんとした方針を出してほしい。

答 (原発については避難計画やヨウ素剤の配布についても問い質した)

消費税の増税について

問 野田政権は、消費税を10%に上げよう

としているが、多くの市民から「生きて行けなくなる」と悲鳴が上がっている。14年前、消費税が5%に上げられた後、景気は冷え込み、税収は大幅に落ち込んだ。(市の税収も、4年間で43億円から38億円に)自殺者が以後毎年3万人に。決して経済的にも財政的にもよくならず、社会保障も年金削減や医療費負担・保険料の値上げなど改悪が計画されている。まさに、消費税増税は市民にとって死活問題だが、市長は国に対して、働きかけるつもりはないか。

答 消費税は生活に直結するため影響が大きく懸念されるが、持続可能な社会保障制度を整備することは重要。全国市長会などを通じて、慎重な審議を国に求めている。

道の駅について

問 市民が来店したい時、公正・平等に出店できるか。

答 民設・民営なので、難しいが、品質を確保した上で、公平に出店できるようにしたい。

問 もし経営状況が悪くなった時、市から補助することはないか。

答 それはない。

問 トイレはどうなったか。

答 34個の計画であったが、24個に金額は3384万円程度になるだろう。

二、教育環境の整備については、学校の耐震化工事を急ぐこと。暑い夏に備えて、小中学校の図書室に冷房施設の設置を。新年度からの中学校の武道必修について、安全第一に無理をしないことなどを要望した。



大山政司議員

質問事項

- 1 義務教育における放射線学習について
- 2 小学校グラウンド芝生化について
- 3 中学校の武道必修化について
- 4 学校の再編整備について

義務教育における放射線学習について

問 中学校三年理科では、新学習指導要領が三十年ぶりに改定され、放射線が復活し導入されたが、原子力発電に係わる放射線の講義内容について！

さらに、文部科学省が発刊された副読本の利用について、各学校に対する指示・指導の内容についてと防災教育と減災教育の必要性について伺いたい。

答 原子力発電の仕組み、長所、短所に触れ、放射線の位置づけとウランなどの核燃料からエネルギーを取りだしており、放射線は自然界にも医療や製造業などでも利用されている。

副読本は、生徒が必要な情報を選択し、自分の考えを持って行動できる力の育成を目指す。

防災・減災教育は各学校において、危機管理体制やマニュアルの再点検と津波等の避難経路や場所を具体的に見直した。

小学校グラウンドの芝生化について

問 平成二十三年度に川之石小学校のグラウンドが芝生化になったが、今年度は芝生化事業として、宮内小、保内幼稚園が予定されているが、仮に伊方原発で事故が起こり、放射線が放出し土壌汚染した場合、児童・生徒にとって本当に期待される効果が得られるのか伺いたい。

答 グラウンドの芝生化は芝生により教育上の効果や、環境保全上考えて実施したもので、原発事故は関係ないものである。

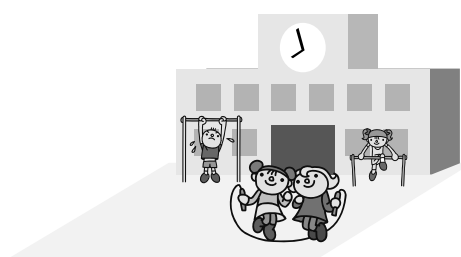
小・中学校の再編整備について

問 教育委員会として、今回の学校再編整備の最終結論を決定される時期について。

学校再編と同時に、生徒の通学区域の見直しについての議論経過について。学校の所在地が、各公民館の設置及び運営と維持に少なからぬ影響を危惧するが、経過について。

答 学校再編の最終決定は、平成二十四年十二月をめどに実施計画を確定したい。通学区域の見直しは、再編計画が実施される中で改めて検討、見直しすべき課題であると考える。

学校を再編することが、公民館の存続には、影響しないという考えで討議した。





上田浩志議員

質問事項

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 水産業再生の取り組みについて
- 3 入浴施設について

入浴施設

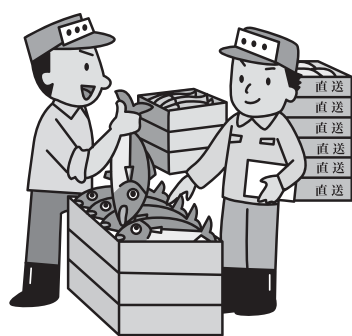
問 今後のまちづくりの中で公衆浴場の再生・温泉入浴施設（循環型）の設置について検討の余地はないものか。

答 入浴施設の整備について市民各層から強い要望をいただいている。場合によっては市内から銭湯がなくなるといふ懸念もある。市内において新しい公衆浴場またはスーパー銭湯的な施設が立地可能かどうか、またその際どのような支援が必要かなど、次回6月議会に調査の予算を計上して、前向きに取り組んでいきたい。



水産業の再生

問 八幡浜地方卸売市場には、沿岸の宇和海を中心に宇和島市や大分県などから約200種類の魚介類が水揚げされているが、昭和55年ごろから取扱量は右肩下がりであり、近年はピーク時の約5分の1となっており、水産業復興の切り札と位置づけられている四国有数の水産物流拠点として新魚市場に今後どのようにして集荷力向上を目指すのか、具体策を伺いたい。



答

漁獲量の減少に伴い、漁獲物の取り込みの動きが一部で見られることから、今後市外からの水産物の集荷をふやすには他市場より高い価格がつくような何らかのインセンティブを設定することも必要ではないか、検討してまいりたいと考えている。

市長の政治姿勢

問 現市政にとって今年が仕上げの年であり、1期目の結びとしての年にかけるトップの姿勢を伺いたい。

答 市民の皆さんから要望の強かった医療体制の整備や地域防災体制の充実、地域交流拠点施設の整備、地域高規格道路や国道378号の整備促進などを市政の重要課題と位置づけ24年度を私の1期目の締めくくりに年として、今後とも市民が主役であることを肝に銘じ、市民の皆さんが誇れるふるさと八幡浜の創造を目指し、市民の皆さんと一緒に取り組んでまいりたい。



宮本明裕議員

質問事項

- 1 振興ビジョンにおける8千万円トイレ・アゴラ等の問題点について
- 2 しがらみ・なれあいの大城市政について

港湾ビジョンの日本一の8千万円トイレ・アゴラ等の問題提起について

問 8千万円トイレの計画は、建設費・面積で他市の産直市のトイレと比較して、どう思っか！

答 トイレ棟設計競技の提案では、3384万円の概算工費を示して頂いている。要望 しがらみのない知見のある方の設計では当初の見積りより50%近く安いトイレが、出来るのであり、計画策定を徹密にすべきであると指摘。

問 アゴラの代表者・山本氏の実験店として青空市で買物した主婦の方々から、「野菜に新鮮味なく、他市他県産名の野菜・果物があり、市場からの仕入れた商品もある」と聞いている。

食品工場製品・他地域からも産品を仕入れし、販売する旨の発言があり、市が、我々に説明した、産直市・物産販売とは違った方向になっているのではないか。

答 青空市は、試験的に開設された店舗であり、試行錯誤を重ねノウハウを蓄積するためのものである。

問 農協を通さず、直接アゴラで柑橘類を自分で価格をきめ、販売できないか。

答 品質の確保も重要であり、適正なルールづくりに向け、民営施設の運営なども協議を重ねていきたい。

しがらみ・なれあいの大城市政について

問 9月議会において、「酒場での市長の醜態について」を質問いたしました。その時、市長と懇談していた人が、山本氏であり、親密な関係であった。又、振興ビジョンの参加申込み者には無名で、資金力もない一級建築士が、なぜ、参入できたのか、その建築士と山本氏の構想が、検討委員会で、決定されたのか。アゴラに賃貸する定期借地権付きの、土地の契約期間・賃料・面積について。

答 民営施設の選定については、愛大教授等の外部委員で公正・公平に選定している。契約期間は、10年10ヶ月程度を予定しており、建設期間10ヶ月、賃貸期間10年間の内、3カ年間無料、駐車場無料、賃料については、不動産鑑定を踏まえて検討する。

指摘 民間の土地賃貸であれば、大資本で、経営実績・経験のある会社に賃貸し、集客に心配・不安のない実績のある民間活力を導入。その波及効果は、ドーや市場にも及ぶ。大洲・宇和方面での商業施設は坪単価600円程度と聞いているが、4000坪もあれば、毎月240万円の賃料が入り、市の償還にも十分充てられる。民間活力の導入、活性化の基本である。

なれあいの業者の選定になっていると思う。



清水正治議員

質問事項

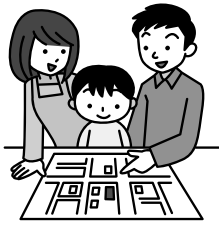
- 1 防災について
- 2 シーボルト協会との交流再開について
- 3 学校再編について
- 4 ミニバイクのナンバーについて

防災について

問 昨年の東日本大震災後、我が八幡浜市では多岐にわたって論議がされた。病院の改築問題で地震や津波を想定した避難、退避の見直しがされる中で、市民の安全が第一だと思う。

現在市が作成している防災マップの見直しが必要ではないか伺いたい。

答 防災マップにつきましては、平成20年3月に作成をし、全戸に配布をしている。昨年の東日本大震災を受けて、現在国の中央防災会議で、地震、津波被害想定の見直しが行われており、今年の夏頃をめどに新たな被害想定が出される見込みだ。市ではその結果を踏まえ、国、県の被害想定を参考に新たな防災マップを作成する予定である。海抜表示をした津波一時避難場所と津波避難ビルの場所を記した地図を今月中に作成し、津波浸水予想区域の全戸に配布避難場所の徹底を図っていく。



シーボルト協会と交流再開

問 シーボルト協会のあるドイツヴェルツブルグ市はライン川の支流、マイン川を



石崎久次議員

質問事項

- 1 震災時の対応について
- 2 総人件費の削減に対しての過去の実績（市長発言に対して）と今後の見込みについて
- 3 過去の入札における疑問点について

震災時の対応について

問 ①上方修正された津波に対する対応はとれているのか？

②大規模な災害が発生した時、発生するであろう瓦礫の量は？

③今般の東日本大震災で発生した、放射能に汚染されていない瓦礫の受け入れをするつもりはあるか？

答 ①防波堤で津波被害を完全に防止する事は現実的な対応ではない。避難場所の確保を優先し、耐震強化、岸壁の整備に努める。

②八幡浜地域防災計画を平成19年に作成したが、津波に合わせた被害の予測は現段階ではできていない。

③国、県の十分な説明と地元も含めた市民の理解が前提となる。

過去の入札における疑問点について

問 ①神業的な入札が3度も行なわれているが不正はなかったのか？

②この入札の内、例えば、保内庁舎外壁塗装及び屋上防水工事を建築業社の入札にした事由は？

答 ①入札3件については、適正に実施しており事務手続上は全く問題はない。また、不正に関わった人間が市役所におらんのかという事だが、今までのところ、そういうようなことを明示または示唆する話は一切ない。



②八幡浜市内で施工対応できる業者の数を考慮し、総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設、改修を行っていくため、建築工事業の業者に発注した。


問 ①保内庁舎の塗装及び防水工事に関し、具体的に、設計書の内訳書で、建築業社のみがするべき所を示し再度答弁を求めらる。

答 ①防水改修工事のうち、防水でないといけない業種がウレタン塗膜防水と立ち上りであり、他は建築業社がすることである。

問 ①建設業者がすると答えられたがそこは塗装、防水業者でも出来る。特に高圧洗浄は誰に聞いても塗装、防水業者の仕事ではないのか？

答 ①これからそういう工事の内容についてこれまでも非常に厳しく審査してきたつもりですが、ご指摘の点なども踏まえながらこれからもやっていきたいと思う。

行政視察

委員会	議会運営委員会	
視察日	1月16日・17日	
視察先	<ul style="list-style-type: none"> ○香川県観音寺市 ・議会報告会について ○岡山県総社市 ・一問一答制について ・議会主導で実施された「雪舟くん」について 	

観音寺市役所前

議会改革 ①

決定した事項

【議会だよりについて】

1. 編集委員会を組織し、構成、編集については編集委員会に任せる。
2. 一般質問の掲載について、質問者の写真と名前を掲載し、内容については、原則質問者本人が原稿を作る。
3. 各議案に対する議員の賛否を掲載する。

3月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
報告第1号	専決処分の報告について（八幡浜市役所八幡浜庁舎正面駐車場内において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）	報告
第2号	専決処分の報告について（主要地方道八幡浜港線において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議のない旨答申
議案第1号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
第2号	新たに生じた土地の確認について	〃
第3号	字の区域の変更について	〃
第4号	八幡浜市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第5号	八幡浜市債権管理条例の制定について	〃
第6号	八幡浜市市税条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第7号	八幡浜市財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第8号	八幡浜市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第9号	八幡浜市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第10号	八幡浜市乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第11号	八幡浜市母子家庭医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第12号	八幡浜市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第13号	八幡浜市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第14号	八幡浜市大島産業振興センター設置及び管理条例の制定について	〃
第15号	八幡浜市水産加工センター設置及び管理条例の制定について	〃
第16号	八幡浜港港湾施設の管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第17号	八幡浜市水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	〃
第18号	市立八幡浜総合病院事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	〃
第19号	八幡浜市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第20号	八幡浜市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第21号	平成23年度八幡浜市一般会計補正予算（第8号）	〃
第22号	平成23年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
第23号	平成23年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	〃
第24号	平成23年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第4号）	〃
第25号	平成23年度八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算（第3号）	〃
第26号	平成23年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	〃
第27号	平成23年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）	〃
第28号	平成23年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算（第4号）	〃
第29号	平成24年度八幡浜市一般会計予算	〃
第30号	平成24年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計予算	〃
第31号	平成24年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計予算	〃
第32号	平成24年度八幡浜市介護保険特別会計予算	〃
第33号	平成24年度八幡浜市介護サービス事業特別会計予算	〃
第34号	平成24年度八幡浜市日土財産区特別会計予算	〃
第35号	平成24年度八幡浜市駐車場事業特別会計予算	〃
第36号	平成24年度八幡浜市簡易水道事業特別会計予算	〃
第37号	平成24年度八幡浜市公共下水道事業特別会計予算	〃
第38号	平成24年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算	〃
第39号	平成24年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計予算	〃

番 号	件 名	審議結果
議案第40号	平成24年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計予算	原案可決
第41号	平成24年度八幡浜市港湾整備事業特別会計予算	〃
第42号	平成24年度八幡浜市水道事業会計予算	〃
第43号	平成24年度市立八幡浜総合病院事業会計予算	〃
第44号	「八幡浜漁港高度衛生管理型荷捌所建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について	〃
第45号	市立八幡浜総合病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第46号	平成23年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算（第5号）	〃
請願第15号	伊方原発の再稼働を認めないよう求める請願書	継続審査
第16号	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願	不採択
	議会閉会中における継続審査について	原案可決
	所管事務調査について	〃
	議員の派遣について	〃

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。
そのほかについては全員賛成で可決されました。

議 席	氏 名	議案の可否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
			岩田 功次	石崎 久次	樋田 都	新宮 康史	上田 浩志	井上 和浩	魚崎 清則	二宮 雅男	遠藤 素子	清水 正治	宇都宮 富夫	兵頭 孝健	上田 竹則	松本 昭子	住 和信	中岡 庸治	宮本 明裕	大山 政司	萩森 良房	
議案第4号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	
第13号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○
第21号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
第29号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第16号	否	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	○	×

[○：賛成 ×：反対 宇都宮富夫議長は採決に入っておりません]

議会日誌(H23.12.21~H24.3.5)

◆委員会活動状況

- 12月21日 原子力発電安全防災対策特別委員会開催
- 1月12日 議会改革特別委員会行政視察(京都府宇治市)(~13日)
- 26日 議会改革特別委員会開催
- 2月8日 市議会協議会開催
- 15日 議会改革特別委員会開催
- 16日 議会運営委員会行政視察(観音寺市・総社市)(~17日)
- 24日 原子力発電安全防災対策特別委員会開催
- 28日 議会運営委員会開催
- 3月2日 市議会協議会開催

◆庶務関係

- 1月18日 兵庫県赤穂市議会 3人が行政視察のため来庁
- 20日 埼玉県入間市議会 1人が行政視察のため来庁
- 2月1日 議長が広域行政圏市議会協議会第43回総会に出席(東京都)(~2日)
- 3日 正副議長が第58回南予市議会議長会に出席(大洲市)
- 8日 兵庫県赤穂市議会 4人が行政視察のため来庁
- 9日 議長が全国市議会議員共済会第103回代議員会に出席(東京都)(~10日)
- 21日 議長が愛媛県後期高齢者医療広域連合議会定例会に出席(松山市)
- 24日 2012年国民春闘愛媛共闘会議一行が「住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情」のため来庁
- 27日 伊方原発をとめる会一行が「伊方原発の再稼働を認めないよう求める請願」のため来庁
- 27日 全日本年金者組合八幡浜支部一行が「公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願」のため来庁

編集後記

市議会では、議会改革特別委員会を立ち上げ、市民の皆様へ、より開かれた議会となるべく種々議論を重ねております。その中で、この議会だよりも、議員の手で自ら作成しようと委員会を作りました。一般質問は議員の顔が見える形で、また、議案の賛否に関しても全会一致とならなかった件については、議員各自の賛否を掲載することとしました。「議会だより」についてご意見をお願いします。

《議会だより編集委員》

- 委員長 石崎 久次
- 副委員長 遠藤 素子
- 委員 岩田 功次
- 〃 樋田 都
- 〃 井上 和浩
- 〃 二宮 雅男
- 〃 清水 正治

八幡浜市議会事務局

TEL (代)22-3111 内線603

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。 [八幡浜市議会](#) [検索](#)